

EU Indicators

欧州経済指標コメント：3月ユーロ圏PMI指数(速報)

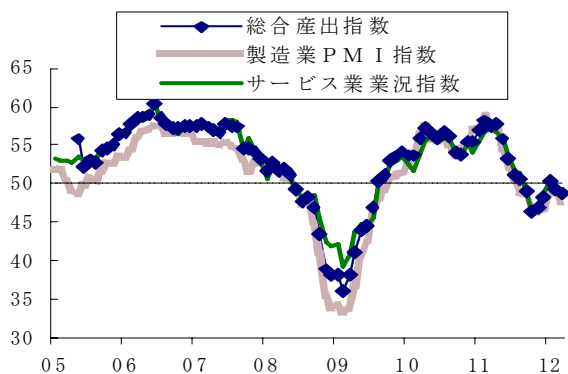
発表日：2012年3月23日(金)

～ドイツ製造業の輸出受注・雇用判断の冷え込みが気掛かり～

第一生命経済研究所 経済調査部
 首席エコノミスト 田中 理
 03-5221-4527

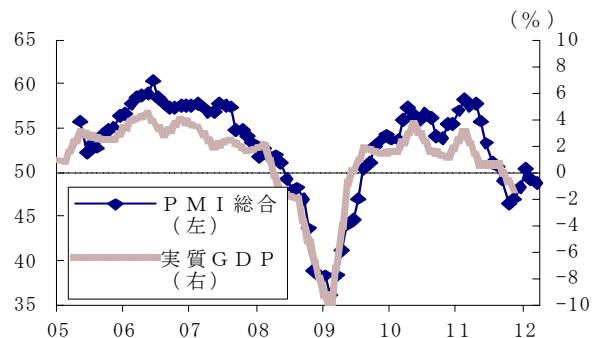
- 3月のユーロ圏のPMI総合指数は前月：49.3→今月：48.7と悪化幅が拡大。1月に5ヶ月振りに業況判断の分岐点(50)を回復した後は、2ヶ月連続で50割れ。購買担当者の業況悪化が続いている。内訳は、サービス業が48.8→48.7と前月並みの悪化にとどまった一方、製造業が49.0→47.7と悪化ペースが加速(左図)。製造業の内訳は、ドイツが3ヶ月振り、フランスが2ヶ月振りに50割れを記録し、悪化を主導した。ドイツ、フランス以外のユーロ圏の業況判断は前月並みの悪化にとどまった。
- 発表元のMarkitによれば、同指数の水準は1-3月期のユーロ圏の実質GDP成長率が前期比▲0.2～▲0.1%程度の落ち込みに相当(右図)。昨年10-12月期の同▲0.3%よりも小幅な悪化にとどまる見込みだが、ユーロ圏全体の景気もテクニカルリセッション(2四半期連続のマイナス成長)入りの公算。景気悪化が一段と加速しているとまでは言えないが、マイルドリセッションから抜け出せずにいる。
- 財政引き締めによる景気悪化が進む周辺国だけでなく、ドイツやフランスの景況改善にも翳り。製造業では輸出受注判断の落ち込みが加速。同日発表の1月のユーロ圏の鉱工業新規受注が前月比▲2.3%と大きく落ち込んだこともあり(但し、これは前月の同+3.5%の反動減によるところが大きい)、世界景気の減速が懸念される。一方、東西ドイツ統一後で最良の雇用環境が続くドイツでは、雇用判断が辛うじて50超を維持したが過去2年で最も弱く、製造業では2010年4月以来の50割れを記録した。

■ユーロ圏：PMI指数



出所：Markit

■ユーロ圏：PMI総合指数と実質GDP成長率



注：実質GDP成長率は前期比年率。

出所：Markit、Eurostat

■PMI指数(季節調整済み)

	2011				2012							
	2Q	3Q	4Q	1Q	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ユーロ圏 総合産出指数	55.6	50.3	47.3	49.5	50.7	49.1	46.5	47.0	48.3	50.4	49.3	48.7
ユーロ圏 製造業PMI指数	54.9	49.3	46.8	48.5	49.0	48.5	47.1	46.4	46.9	48.8	49.0	47.7
ユーロ圏 サービス業業況指数	55.5	50.6	47.6	49.3	51.5	48.8	46.4	47.5	48.8	50.4	48.8	48.7
ドイツ 製造業PMI指数	58.1	51.1	48.5	49.8	50.9	50.3	49.1	47.9	48.4	51.0	50.2	48.1
ドイツ サービス業業況指数	56.5	51.2	51.1	52.8	51.1	49.7	50.6	50.3	52.4	53.7	52.8	51.8
フランス 製造業PMI指数	55.0	49.3	48.2	48.7	49.1	48.2	48.5	47.3	48.9	48.5	50.0	47.6
フランス サービス業業況指数	60.5	54.2	48.2	50.8	56.8	51.5	44.6	49.6	50.3	52.3	50.0	50.0

出所：Markit

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。